

## 【授業改善推進プラン 6年 国語】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すすんで読書する児童が多い。</li> <li>○書くことに苦手意識のある児童がいる。</li> <li>○書いた文章が、問題や条件に合っていないことがある。</li> <li>○文章の内容や言葉の意味を、正しく読み取っていないことがある。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題や条件を整理して、文章を書かせる機会を確保しにくい。</li> <li>○語彙を増やしたり、教科書にある言葉の意味をすべて確認したりする機会を確保しにくい。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的意識（何のために）や相手意識（だれに）などを明確にして、文章を書かせる。</li> <li>○テストをきっかけに、問題や条件を正しく読み取る練習をさせる。</li> <li>○ポイントをまとめたプリントを作成したり、オープンスペースに掲示したりして、児童が書いたよい文章を積極的に紹介する。</li> <li>○タブレットを活用し、言葉の意味や使い方などを、友達同士共有できる環境をつくる。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文章中の主語や述語、目的語、指示語などを確認する。</li> <li>○文中に出てくる指示語の内容を確認する。</li> <li>○文章や話を友達同士交流させ、自分と同じ考えかどうかを判断させる。</li> </ul>

## 【授業改善推進プラン 6年 社会】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>○意欲的に学習に取り組む児童が多い。</li><li>○事実と考えを分けて資料を読み取ることができる児童が多い。</li><li>○ノートに自己の考えや調べたことを分かりやすく記述できる児童が多い。</li><li>○友達と話し合いながら、考えを整理したり、まとめたりすることができる。</li><li>○知識の量や意欲に差がある。</li></ul>
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"><li>○指導が単調になりがちである。</li></ul>
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none"><li>○身に付けさせたい資質・能力の重点化を図り、児童と共に共有することで「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力など」「学びに向かう力、人間性など」をバランスよく身に付ける。</li><li>○シミュレーション活動や体験的な活動を積極的に取り入れる。</li></ul>
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none"><li>○分からない言葉は調べさせるようにする。</li><li>○自分の考えと他者の考えを比較する場面を積極的に取り入れる。</li></ul>

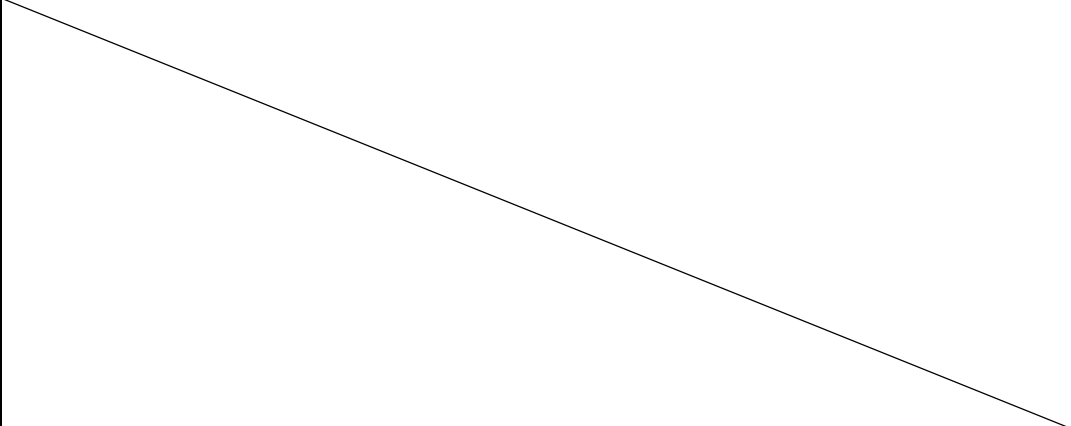
# 【授業改善推進プラン 6年 算数】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○取り組む姿勢に個人差が見られる。</li> <li>○基礎・基本的な知識や技能がよく定着している児童とそうではない児童に分かれる傾向がある。</li> <li>○習ったことを活用したり筋道立てて考えたりする力、言葉・式・絵や図などを用いて解き方を表す力について個人差が大きい。</li> <li>○自分の解き方をわかりやすく話す力がやや不足している。また、説明に苦手意識をもっている児童が少なからずいる。</li> <li>○他者の解き方の説明を聞いた際、自分の考えと比べ意見を述べたり質問したりする力がやや不足している。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業のゴールが明確になるように、授業始めの「めあて」を常に工夫する必要がある。また、振り返りにおいて、「分かったこと」「難しかったこと」など振り返る視点が示されていないことがある。</li> <li>○導入場面の工夫などを通して、意欲を高める指導を更に迫及する必要がある。</li> <li>○問題を解くための戦略を身に付けさせるために、指導の工夫が更に必要である。</li> <li>○解けずに困っている児童に対しての支援方法を更に研究する必要がある。</li> <li>○児童の発言力（特に対話的な話し合いの仕方）を高めるための具体的手だてを更に増やす必要がある。</li> </ul>
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業のゴールがよく分かるよう、「めあて」の文言を示す。</li> <li>○授業の初めの問題を工夫し、児童の意欲を高める。</li> <li>○解き方が分からない児童を適宜集め、問題を解くためのアイデアなど具体的なアドバイスをおくる。</li> <li>○ノートのかき方などよいものを大いに認め励まし、全体に広げるようにする。</li> <li>○発表や発言、質問の仕方についてモデルを示す。また、価値のある発言や質問を取り上げ、よい点を具体的に示す。</li> <li>○5分確保する・視点を明確に示すなどして、振り返りをより充実させる。</li> <li>○電子黒板や書画カメラ・タブレットなどを活用し、分かりやすく魅力ある授業を行う。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文章題の内容を確実に理解させるために、「わかっていること」「聞かれていること」に線を引かせ全体で確認する。また、必要に応じ数直線や線分図、絵などを利用し、文章題理解の一助とする。</li> <li>○問題を一人一人が考えた後、解決法を書いたノートを児童同士で読み合う時間を設け、他の児童が考えた解決法を読み取る力を伸ばす。</li> <li>○解き方を発表する際、初めに児童の解き方を黒板に記す。そして、どのように解決したのか考える時間を設け、図や表・式などから解き方を読み取る力を伸ばす。</li> <li>○定義となる語彙が新たに登場した際、ノートに記載させ全員で読ませたり、当てはまる具体例を考えさせたりすることにより、新しい語彙を確実に定着させる。</li> </ul>

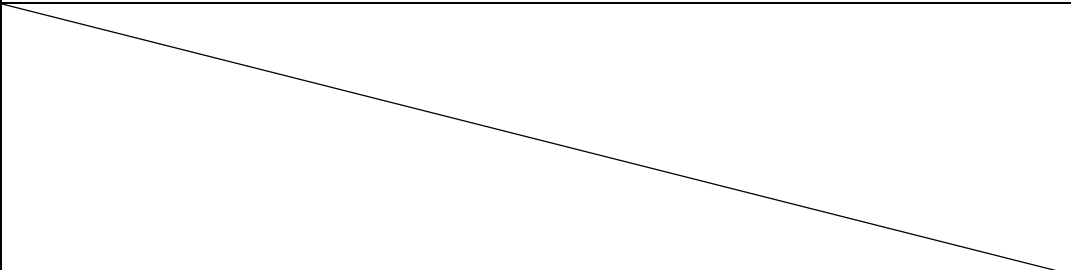
# 【授業改善推進プラン 6年 理科】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習に対して意欲的で、様々な実験計画を発想し実験することができる。</li> <li>○人体の臓器の名前などの、知識の定着を図る時間には意欲的に。</li> <li>○実験結果からわかることをもとに、より妥当な結論を出することができる児童はあまりおらず、思考が深まっていない児童がいる。</li> <li>○植物や生き物に対する興味が高い児童がいる。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が自力で実験計画をたてたり、疑問を解決することができるよう指導方法をさらに工夫していく必要がある。</li> <li>○自分で解決方法を発想できない児童のために、支援之仕方を研究する必要がある。</li> <li>○児童の表現力を高めるための具体的手だてを更に増やす必要がある。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実験方法やその手順を自分たちで計画する時間を確保し、自分でたてた予想や仮説から実験までの見通しをもった活動ができるよう学習計画をたてる。</li> <li>○児童の意欲や、自分たちで疑問を解決したいという思いを高められるよう、身の回りの不思議な事象を提示して授業の導入を行う。</li> <li>○ノートのかき方・発問や解法でよいものを取り上げ全体に示すことにより、表現力・思考力を高めさせる。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「読み解く力を育成するための三原則」を意識した授業展開にする。</li> <li>○実験方法や実験結果を、図を用いて表すようにする。</li> <li>○疑問に思ったことに対する予想や、実験結果をもとにどんなことが言えるかを考え、表現する活動を行う。</li> <li>○観察、実験の結果を表やグラフに整理したり、予想や仮説と関係付けながら文章でまとめてノートに記述したりする活動を取り入れる。</li> </ul>

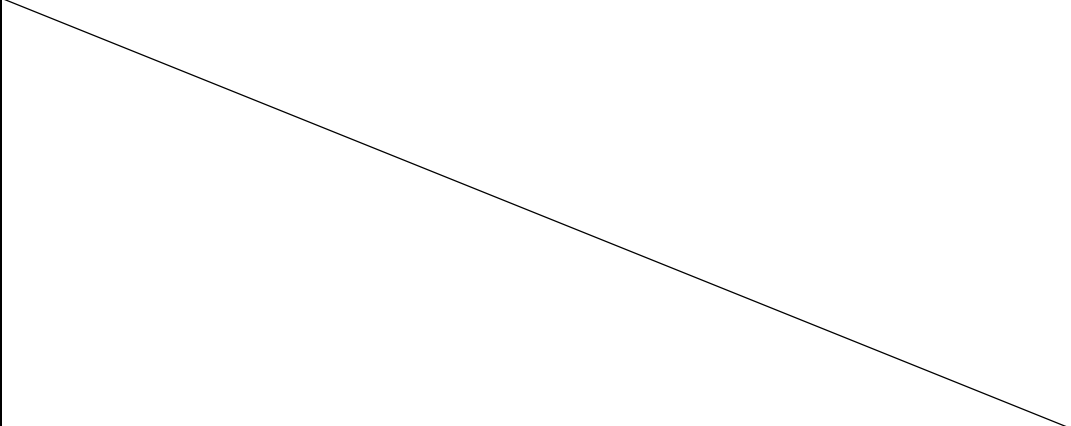
# 【授業改善推進プラン 6年 音楽】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的に活動し、授業規律も定着している。</li> <li>○曲想と音楽の特徴との関わりを意識して表現したり音楽を聴いたりすることに課題がある。</li> <li>○自分の考えや、友だちの意見を取り入れながら、主体的・協働的に学ぶ姿がみられる。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の技能の定着に遅れがある児童に対しての補習にかかる時間が十分ではない。</li> <li>○表現活動に一部制約があるため、自分の出している音に集中したり、友達と音を合わせたりする場面が少ない。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業中に習得できない技能は、補助プリントや休み時間を利用して補習を行う。</li> <li>○音楽室では換気を徹底し、横一列や半円の隊形で並んだり、フェイスシールドを使用したりして、飛沫防止対策を工夫し、歌唱やリコーダーなどを使用した表現活動を実施する。大人数での合奏では屋上も使用する。</li> <li>○曲想と音楽の特徴との関わりを意識できるように楽譜に注目させたり、参考となる鑑賞曲を鑑賞したりする活動を行う。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	

# 【授業改善推進プラン 6年 図工】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電動ノコギリなどの用具や、絵の具、パステルなどの画材、木材やアルミ線などの材料など、既習事項は十分な経験がある。しかし、そのような知識や技能の定着には児童間に差がある。（知識・技能）</li> <li>○自分なりに作りたいものを発想できる児童が多い。しかし、自分の作品を客観的に見ることができず仕上がりや完成度が不十分であったり、発想内容に偏りがあったりする児童もいる。（思考・判断・能力）</li> <li>○図工全般に対して意欲的であり、休み時間に自主的に図工の活動を行う児童も多い。また、お互いを認め合う雰囲気があり、心理的安全性の高い状態で活動することができている。（主体的に学習に取り組む態度）</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○完成度を高める意識が低い児童や、技能の定着が十分ではない児童に向けた、より効果的な個別の指導の技術や言葉かけ。</li> <li>○児童の発想力を高めることができるような声かけや授業の設定をする必要がある。</li> <li>○表現活動に一部制約があるため、造形遊びや鑑賞等の共同的な学習の体験が十分ではない。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○技能を定着していくために、既習事項を振り返る時間や、既習事項を生かしている児童の作品紹介などを行う。</li> <li>○各題材に色々な形式で鑑賞の時間を設けることで、児童の客観的な判断力や鑑賞の力を伸ばす。</li> <li>○色々な発想を取り入れられるよう、クロームブックを児童自身の判断で使い、調べることができるようにする。</li> <li>○新型コロナウイルス感染症対策や感染数などの状況を見極めながら、予定している単元を組み替えながら、造形遊び等の学習活動を行っていく。</li> <li>○教師の板書から、児童が自身でめあてを設定し、その時間の取り組み目標を持つ。併せて、そのめあてをもとに、その日の活動を振り返る活動を毎時間設定する。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	

# 【授業改善推進プラン 6年 家庭科】

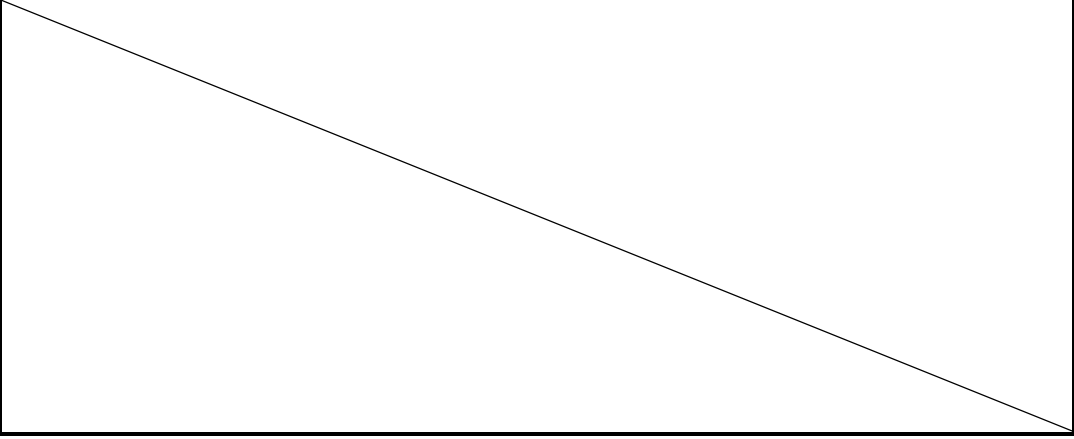
<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○裁縫において、技能の定着までに時間がかかる児童がいる。</li> <li>○調理において、高い興味・関心をもって取り組んでいる児童が多い。</li> <li>○片付けにおいて、目的感をもって取り組める児童とそうでない児童との差が大きくなっている。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1学級あたりの児童数が多いため、裁縫など個々人の進捗状況に合わせた指導をすることが難しい。</li> <li>○家庭科室にICT機器が導入されていないため、手元を見せたいときや動画を使った指導をすることが難しい。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者ボランティアの協力により、個人のみまづきを支援する。</li> <li>○児童同士の学び合いを積極的に行わせ、技能を高められるようにする。</li> <li>○担任と専科で協力し合い、少人数で学習できるような学習形態にできないか検討する。</li> <li>○イラストや実演など、視覚的な支援を充実させる。</li> <li>○説明は自教室、作業は家庭科室で分けるなど環境を最大限活用し、児童の理解と集中力をどちらも高められるようにする。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	

# 【授業改善推進プラン 6年 体育】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>○高い意欲・関心をもって取り組んでいる児童が多い。</li><li>○めあてをもって学ぶことができるようになってきている。</li><li>○互いに見合ったり教え合ったりすることに課題が見られる。</li><li>○基本的な技能の定着に課題が見られる。</li></ul>
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"><li>○運動が苦手な児童に対する手だてが不足している。</li><li>○基礎的な技能を定着させられるような手だてが不足している。</li></ul>
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none"><li>○スモールステップで技能を身に付けられる場や時間を設定する。</li><li>○学習カードや資料、学習展開や学習形態を工夫することで、見合ったり教え合ったりすることができるようにしていく。</li></ul>
読み解く力の育成	



## 【授業改善推進プラン 6年 総合的な学習の時間】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○協力して話し合い、前向きに活動に参加できる児童が多い。</li> <li>○単元の導入場面においては比較的意欲的であるが、単元を通して粘り強く取り組むことができない児童もいる。</li> <li>○インターネットにある数多くの情報について、妥当性や正確性をもとに取捨選択したり、自分や他者が理解しやすいように表現し直したりすることが難しい。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元を通して、児童の意欲を持続させる手だてを検討する必要がある。</li> <li>○個に応じた指導を行うために、教師の役割をより明確にし、必要に応じて担任以外の人員を確保する必要がある。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の導入段階で、体験を充実させ、「自分に身近な問題である」と捉えさせる工夫をしていく。また、単元全体を児童にとって必要感のある内容にする。</li> <li>○複数の情報を比較し、妥当性や正確性について話し合っ取捨選択する機会をつくる。</li> <li>○地域ボランティアや外部の方を招いて、児童に有意義な学びとなるようにする。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	

## 【授業改善推進プラン 6年 外国語】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己紹介やインタビューなどのアクティビティにすすんで取り組む児童が多い。</li> <li>○発音やスペルについて、慣れ親しもうと意欲的に取り組む児童とそうでない児童とで二極化が見られる。</li> <li>○外国語に対する苦手意識を、すでにもっている児童がいる。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教師が、中学校での学習を見通した指導をより学ぶ必要がある。</li> <li>○楽しみながら、発音やスペルに慣れ親しむ活動の工夫が必要である。</li> <li>○ALTとより連携を図る必要がある。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎回の授業の導入で、小学校段階で身に付けるべき知識や技能を扱った活動を取り入れ、習得を目指す。</li> <li>○苦手な児童も安心して取り組むことができるよう、ヒントカードなどの補助教材を用意したり、少人数で取り組む機会を増やしたりする。</li> <li>○授業の進め方や役割分担などを計画し、ALTとの連携を図る。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル教科書の絵を見たり音声を聞いたりして、絵の内容を読み取ることができるようにする。必要に応じてALTや教師が補足の発問をして、絵の内容について考えることができるようにする。</li> <li>○習得した例文が様々な場面で活用できることに気付けるよう、振り返りを工夫する。</li> </ul>

## 【授業改善推進プラン 6年 特別の教科 道徳】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>○道徳的価値について、理解できている児童が多い。</li><li>○授業の場面で自己の生き方と結び付けている児童が多い。</li><li>○実践しようとする意欲はあるが、その意欲が継続しない児童も多い。</li></ul>
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"><li>○読み物教材の活用を中心としているため、指導が単調になってしまうことがある。</li><li>○自分事として真剣に向き合える学習展開をする必要がある。</li></ul>
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none"><li>○資料を集めたり多様な指導方法を取り入れたりする。</li><li>○授業後半の指導の充実を図る。少人数での話し合いを積極的に取り入れ、全員が主体的に参加できるようにする。</li></ul>
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none"><li>○読み物教材の主語を確認する。</li><li>○振り返りでは、既習事項や既習体験などをもとに、自分の気付きなどを書かせるようにする。</li></ul>